
5026. 修正申告

業務コード	業務名
AMC	修正申告

1. 業務概要

「修正申告事項登録（AMA）」業務で登録した情報を使用し、修正申告（特例修正申告を含む。）を行う。

本業務は税関の一般執務時間内のみ行うことができる。

2. 入力者

通関業

3. 制限事項

なし。

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

- ①システムに登録されている利用者であること。
- ②修正申告DBに登録されている事項登録を行った入力者と同一であること。
- ③システムに通関士として登録されていること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(B) 項目間関連チェック

なし。

(3) 修正申告DBチェック

- ①入力された修正申告番号が修正申告DBに存在すること。
- ②修正申告事項の登録が完了していること。
- ③修正申告がされていないこと。
- ④修正申告DBに口座番号が登録されている場合は、AMA業務を行った日と本業務日が同一であること。
- ⑤修正申告の場合は、本業務の入力年月日が修正申告DBに登録されている輸入許可年月日の翌日から5年以内（修正申告DBに登録されている輸入許可年月日が平成23年12月1日以前の場合は、3年以内）であること。
- ⑥特例修正申告の場合は、本業務の入力年月日が修正申告DBに登録されている特例申告期限日の翌日から5年以内（修正申告DBに登録されている特例申告期限日が平成23年12月1日以前の場合は、3年以内）であること。

(4) 口座関連チェック

修正申告DBに口座番号が登録されている場合は、以下のチェックを行う。

- ①修正申告DBに登録されている口座番号が口座DBに存在すること。
- ②修正申告DBに登録されている口座番号が通関業者口座の場合は、入力者が口座DBに登録されている口座名義人と同一であるか、または口座名義人に代わる利用可能者として口座利用可能者DBに登録されていること。
- ③修正申告DBに登録されている口座番号が輸入者口座の場合は、申告者または輸入取引者が口座DBに登録されている口座名義人と同一であるか、または口座名義人に代わる利用可能者として口座利用可能者DBに登録されていること。ただし、国内用輸出入者DBにて輸出入者コードと法人番号が紐づいて登録されている場合は、相互に変換してチェックを行う。

(5) その他のチェック

本業務が行われた時間が税関の一般執務時間内であること。

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)

(2) 修正申告DB処理

修正申告された旨及び削除対象とする旨を修正申告DBに登録する。

(3) 納付処理

(A) リアルタイム口座処理

納付方法が口座振替の場合で、かつ、リアルタイム口座を利用して納付する場合は、以下の処理を行う。

- ①修正申告された旨を資金DBに登録する。
- ②納付番号及び確認番号を払い出し、資金DBの税科目毎に納付すべき税額を合計した金額をMPN納付DBに登録する。
- ③口座残高不足の旨を資金DBに登録する。
- ④口座引落とし要求電文をリアルタイム口座用Webサーバ向けに送信する。

(B) 直納処理

納付方法が直納の場合は、資金DB処理を行う。

- ①修正申告された旨を資金DBに登録する。
- ②受入科目毎に納付すべき増加税額を資金DBに登録する。

(C) MPN処理

納付方法がマルチペイメントネットワーク（以下、MPNという。）の場合は、以下の処理を行う。

(a) 資金DB処理

- ①修正申告された旨を資金DBに登録する。
- ②受入科目毎に納付すべき増加税額を資金DBに登録する。
- ③MPNで納付する旨を登録する。

(b) MPN納付DB処理

納付番号及び確認番号を払い出し、あて先官署、修正申告番号及び納期限が同一の受入科目の納付情報を1つにまとめ、MPN納付DBに登録する。

(4) 添付ファイル管理DB処理

添付ファイル管理DBに入力された修正申告番号に係る情報が存在する場合は、修正申告された旨を登録する。

(5) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
修正申告控情報	なし	入力者 申告者 ^{*1}
納付書情報（直納）	納付方法が直納の場合に受入科目毎に出力	入力者
納付番号通知情報	納付方法がMPNの場合に出力	入力者
修正申告確認情報	海上の場合に出力 なし	税関（通関担当部門）
添付情報通知情報	添付ファイル管理DBに修正申告番号に係る情報が存在する場合に出力	税関（通関担当部門）

（*1）システムに出力する旨が登録されている場合にのみ出力する。

7. 特記事項

（1）実施可能期間の最終日について

本業務の実施可能期間の最終日が「行政機関の休日に関する法律」に規定する行政機関の休日に当たるときであっても、これらの日の翌日を最終日とはしない。